

かなえ

第80号(平成31年2月)

医療法人社団鼎会 三和病院

松戸市日暮7-379 ☎047-712-0202

<http://www.sanwa-hsp.or.jp>

医療法人社団鼎会 八柱三和クリニック

松戸市日暮1-16-2 ☎047-312-8830

<http://www.y-sanwa-cl.com>



「小金原中央商店街」

1月に入り、あまりの寒さで家の中にいる機会が多くなった。最近息子が小金原に行く機会が多くなり、息子の話から小金原団地と小金原中央商店街を知る。ここ小金原団地と商店街はまもなく50周年を迎えるようだ。

商店街の隣には行政センターがあり、松戸市の小金原支所、図書館、体育館、郵便局、交番などが一カ所に集まり存在している。商店街入口アーチのキャッチフレーズには何でもそろうとあり、銀行、スーパーからパン屋、カメラ屋、メガネ屋、魚屋、寿司屋、衣料品、ダイソー、更にはハンバーガー等標語に恥じない色々な店舗があった。

北小金駅からバス10分、八柱駅からバス15分の位置にあり小金原団地の完成入居が始まってから今年で半世紀あまり。施設も充実、道も広く住みやすそうな団地であった。

絵、文 菅谷 功 2019年1月

おひとりさま

～あやべさんのこと～

医療法人社団鼎会 理事／
三和病院 顧問／千葉大学名誉教授

内科 高林克日己 医師

外来 三和病院…月曜(午前)・水曜(午後)
診療日 八柱三和クリニック…木曜(午後)



「俺はもう去年でおしまいだからと思って、持ってるものをみんな兄弟たちに分けちゃってもう何にもないのに、まだ生きてるんだよ、まいっちゃったよ」、これが私の外来に車椅子で入ってきたあやべさんの最初の言葉であった。ニコニコしながら彼はこう言ったのである。前立腺がんが見つかったときには既に腰椎に転移があり、腰から下はマヒしてしまって動かすどころか感覚もない。足がないようなものである。それどころか動こうとするときにはこの2本の足が重くて邪魔になる。そして大便も小便もわからなくなってしまった上に、自分で始末することもできない。彼は奥さんに逃げられ?、子はいない、身寄りがない、72歳である。

こんな状況なのに彼は明るい。私にはどうしてそうしていただけるのかわからなかった。そうして彼は団地で一人で暮らしていて、これからも最期までそこに居たいというのだった。私は在宅医療(訪問診療)をしているので、外来に来ることができなくなったならば、こちらから家まで行くと約束した。それからさらに1年以上も彼は元気であった。一つは前立腺がんの良い薬ができたお

かげで、PSA値は全く正常になってしまったのである。しかし流石に一年がたつと数値が次第に上がっていき、痛みも強くなった。転移は全身に広がって、麻薬を使っのコントロールが始まった。そして私は彼の住む団地に訪問診療を始めることになった。彼の部屋は高層ビルの6階。確かにみんな処分したためか、最低限生活に必要なものしか残っていないが、むしろござっぱりしていた。食事のうち2食はヘルパーさんが来て作ってくれる。両手しか使えない彼がその部屋の中で暮らすために、遠くのもの进行操作しようとして考えて作ったいろいろな器具には驚かされた。そしてベッドから車いすへはボードを一枚敷いて、腕だけで座って少しずつ移るのだ。これを一人でいるときに失敗したら床に転がって誰か来るまで起きることができない。もっと困ったのはタバコである。これが彼の最大の楽しみであるのだが、酸素も吸っ

ている彼にはとても危険なことだし、そもそも火種が床に落ちたら彼にはその火を消すことができないために、火事になって一貫の終わりになってしまう。だからタバコを吸うのは誰かがいるときだけ



と約束させた。痛みは貼り薬の他、オキノームという麻薬を服用することで抑えていた。こんな状態の彼であったが、いつも明るかった。その理由の一つは看護師やヘルパーさんの優しさであると思う。彼女たちは彼を連れ出してときに近所の喫茶店などに行っていた。なぜそうなのかは聞けなかったが、彼にはほとんど友人がなく、来客のない彼にとっては彼女たちには天使のような存在であったろう。そのうちに先生も一緒に行こうというので、ある土曜日の午後スタッフ一同と焼き肉屋に行くことになった。考えてみれば亡くなるひと月前である。車いすに移り、自分の着たいものを引き出しから出してもらって着替えをして、われわれは焼き肉屋へ出かけた。彼は既にほとんど食べられなくなっていた。しかしそれでも何枚かレバーを食べ、上機嫌だった。我々まで明るくする不思議な力を彼は持っていた。



クリスマスの頃になると流石に全身への転移ですっかりやせてしまった。それでも私が診察に行くと痛いとは言わず、相変わらずニコニコして薬でなんとかなっているという。先生がいると安心だからといって、お守り代わりに私と2ショットの写真を部屋に貼っていた。辛いなら病院にいつでも入れると話したが、彼はいつもそれを断った。それは入院すればたばこを吸えなくなってしまうこともあるが、自分は家で死ぬんだという信念を貫きたいためのようによくみえた。明後日のクリスマスがちょうど診療の予定日であったが、私は

心配になりわずか10分だけ時間を作って一人で彼に会いに行った。血圧は70台、酸素飽和度も下がりバイタル的には問題だが彼は大丈夫と相変らずにここにこし、また明後日と握手した。それが最期になった。翌朝訪れたヘルパーさんがベッドで眠ったように呼吸停止している彼を見つけた。まだ暖かった。そしてとても安らかな笑顔であったという。

在宅医療の良さは、たとえ一人暮らしでも本人が本当に最期まで家にいたい、というケースで最も真価が発揮されるように思う。そしてこれは本人に覚悟があるのなら誰でも可能である。私は医師、先生と呼ばれる。先に生まれて先に経験するから「先生」であって、先に死んだら「先死」になってしまう。まだ死んだことはないの、自分がそうなったとき果たして彼のように平気でいられるか、とても自信はない。それなのに患者さんにこの方が良いなどよく言えるねと言われそう。だけれども、多くの亡くなっていく人たちの診ることで、最後にどうやって生きていくのが一番幸せそうだったのかは経験してきた。それは死を考えない、治療に執着しない考え方である。あるいは生を普通に全うしようとする考え方だと思う。彼は最期にそれを私たちに教えてくれたのだ。

今回生前から写真などの公開の許可を頂いて掲載しました。

一緒にいろいろ支援してくれた、あんず訪問看護、幸樹会の皆さんに深謝します。

在宅医療に関心のある方
独居の方もお気軽に
ご相談ください



☎047-712-0202



鼎会からの お知らせ



休診のお知らせ

三 和 病 院

2月16日(土)… 整形外科 佐藤 雅 医師
2月23日(土)… 乳腺外科 高松 友里 医師
2月26日(火)～28日(木)

…………… 乳腺外科 長谷川 圭 医師
代診あります

2月28日(木)… 内 科 松本 容子 医師
3月 4 日(月)～6日(水)

…………… 乳腺外科 長谷川 圭 医師
代診あります

八 柱 三 和 クリニック

2月 2 日(木)… 内 科 塚原 隆伊 医師
2月21日(木)… 内 科 高林克日己 医師



さくらんぼの会



三和病院には「さくらんぼの会」という乳がん患者会があります。同じ病気と向き合う仲間同士、年に4回定例会で集まって話をしています。治療中の方は、治療に関する悩みを相談したり、つらい気持ちを分かち合ったり…



**参加申込みは、
受付・外来のスタッフまでどうぞ**
登録費:1,000円(年会費などはありません)

医療法人社団鼎会への寄付金のご協力をお願いしております

医療法人社団鼎会基金へのご協力ありがとうございました

多数の方々よりご協力をいただきました基金の募集は一旦終了とさせていただきます。皆様のご協力ご支援に深く感謝申し上げ、心より御礼申し上げます。ご協力いただきました基金につきましては引き続き大切に運用させていただきます。

三和病院開設以来、皆様のご理解とご協力の下、地域に根差した医療活動を運営してまいりました。新しい医療機器の購入や室料差額無料など、より良い医療の提供や患者様の負担を軽減する運用を継続していくために一層の努力を重ねてまいります。



寄付金につきましては引き続きご協力をお願いしております。

詳細につきましては下記にお問い合わせください。

医療法人社団鼎会総務課 **TEL047-712-0202**

三和病院・八柱駅間 シャトルバス 運行予定表

平成28年8月



八柱駅発			三和病院発
8時	30	50	40
9時	10	30 50	00 20 40
10時	30	50	20 40
11時	10	30 50	00 20 40
12時	30	50	20 40
13時	10	30	00 20 50*
昼休み			※土曜日のみ 運行の最終便
14時	20	40	10 30 50
15時	00	20 40	10 30
16時	20	40	10 30 50
17時	00	20	10 30 45*

※交通状況等によって時間通りに運行できないことがあります。
※日曜・祝日・年末年始(12/30～1/3)は運行していません。
※定められたバス停などはございません。※八柱駅の文庫前を目的地に発着しております。
※八柱駅前のロータリーの駐車状況によっては、交番前に停車できない場合がございます。
その際は、ロータリー内の可能なスペースに停車致しますので、ご了承下さいませ。